

高温に関する異常天候早期警戒情報 「苗ヤケ注意」・伸び過ぎないように温度管理に注意！ 適期田植え・適正株数で良いスタートを！

昨年は6月に入り低温が続いたため、田植えが遅れた圃場では、特に初期生育確保に苦労し、収量や品質の低下がみられました。初期生育を確保するには、適期田植えと田植え後1ヶ月の水管理が重要です。適期、適正株数で田植え、田植え後はきめ細やかな水管理で生育促進を図りましょう！

育苗後半の温度管理

- 老化苗や苗丈の長い苗は活着、分けつが遅れるため、苗を伸ばしすぎないように注意
- 外気温が25℃以上の日は要注意！朝からハウスを開放しましょう。
- 遮光資材で日よけをするのも効果的（ただし掛けっ放しは苗が軟弱になります）。
- 夜間も強い低温がない限りハウスを開放し、外気に慣らして管理しましょう。
- プール育苗は苗が伸びやすくなるため、ハウスを開放して管理しましょう。

水管理

- かん水は午前中が基本。夕方からのかん水は根張りが悪くなるので避けましょう。
(日中乾いた時は、サッと手直しを行う)
- プール育苗の入水時期は1.5葉期から。(最初は床土の高さまで)。また2葉期以降は常時湛水し、箱上1cm程度の水深にします。

ケイ酸資材の投入と、品種に応じた適正な基肥量で、 おいしいお米を生産しよう

- 近年、灌漑水により供給されるケイ酸や土壌中のケイ酸含量が低下しています。
- ケイ酸の施用は稲の光合成能力を高め、品質・食味の向上に効果が期待できます。
- ケイ酸資材も多様な種類が流通し、活用しやすくなっています。

品種に応じた基肥量の目安

品種に応じた基肥量（窒素量）は、下表を目安に、良食味米生産に努めましょう。

表 品種別の基肥量（窒素量）の目安

品種名	はえぬき	つや姫	雪若丸	コシヒカリ	ひとめぼれ	あきたこまち
窒素成分量 (kg/10a)	5～6	3～4	4～5	3～4	4～5	5～6

堆肥の過剰施用は食味にマイナス

○堆肥は、家畜の種類や原料により窒素分量が異なるので、特徴を把握して施用しましょう。

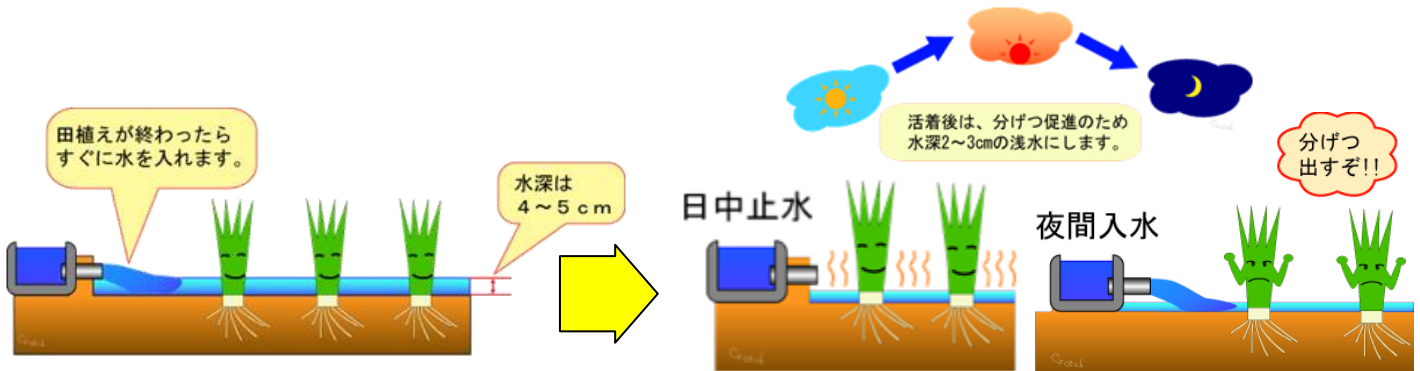
田植え時の留意事項

田植えの適期は5月15日～20日頃です。**【つや姫・雪若丸の田植えは5月20日まで】**

- 低温や強風の日の田植えは、植え傷みや活着不良になるので、田植え作業は、出来る限り天候の良い日を選んで行いましょう。
- 栽植密度は70株/坪、株当たり4～5本**を目安とします。
- 植付け深は3cm程度**を基本とします。(深植えは分けつの発生を抑制します)
- 箱施用剤や除草剤は、**ラベルを良く確認し**、間違いのないように使用しましょう。

田植え後の水管理

田植え直後は、4～5cm程度の水深で活着を促進させます。活着後は、2～3cmの浅水管理とし、日中止水・夜間かんがいの保温的管理で、分けつの発生を促進させます。



雑草イネの発生に注意!

玄米に赤米が混入していたら、雑草イネの可能性大!
発生ほ場は早急に対応を!



【主な雑草イネ防除対策】

1. 雑草イネを見つけたら株元から抜き取る。
※時期が遅れると脱粒してくるので注意
2. 雑草イネに有効な除草剤の体系処理を行う。
※有効な除草剤、散布タイミング(雑草イネ出芽前処理)等については普及課、JAにお問い合わせください。
3. 拡散防止のため機械作業を行う際には雑草イネほ場を最後にする。

STOP! 農作業事故!

～春季農作業事故防止強化期間中～

◎農薬を使用する際には使用基準を再確認し、正しく使いましょう!
農薬を使った際には、その都度記帳を行いましょう。